

課題研究への外部の支援者SAの活用について

SSH事業の第4期の課題として「地域の外部支援者活用による、交流・議論・発表等を軸とした生徒の主体的な探究活動のカリキュラム開発」が中心課題となっています。

第3期SSH事業では、本校卒業生だけをSA（サイエンスアドバイザー）として登録し、課題研究等に支援を受けておりました。SAの方でも現役世代の大学の教員の方などからは、継続的な支援を受けることが難しいなど多くの課題があり、第4期目からは、支援者であるSAの範囲を広げて活用することを考えています。地域の外部支援者活用として産業人OBネットワークの方にSAとして協力を依頼し、生徒の活動に他者との議論を取り入れる足がかりにしたいと考えています。

添付しました「課題研究指導のガイドライン（案）」については、産業人OBネットワークのSAの方にも承知願っています。今年は1年目ですので、このガイドラインについても外部の支援者（SA）の方の意見を取り入れ改訂していくことを考えています。

「覚書」については、学校の中で活動していただくのに、お互いが確認しとくこととして交わすこととし、順調に支援体制が確立すれば、両者の「協定」へと発展させる予定です。

この件に関して、まだスタートしたばかりですが、ご意見等がありましたら総合理学部 繁戸までご連絡ください。